

市長選挙と選挙公約について

高橋 鈍 斎



〔質問〕 昨年11月の市長選挙は、4年間の実績のある山田市長と、短期間で準備した対立候補者との結果は僅差となり、非常に敵しかったと答弁されているが、所見を伺う。

〔答弁〕 〔市長〕 刈田病院の公設民営化を公約に掲げ、市民の皆さまの信任を勝ち取ることができた。民意を大きな推進力として、今後の市発展を成し遂げていく所存である。

〔質問〕 市長は「二元代表制の二翼を担っている議員と議論を深めたい」としながら、選挙用ビラに特定の議員と後援会を掲載したのはなぜか。

〔答弁〕 〔市長〕 ビラの掲載内容に特段の制限はないため、賛同者の氏名を掲載したものである。

〔質問〕 現職の議員と市長は友達関係ではない。各議員と後援会の3役にも承諾・確約を得て掲載したのか。

〔答弁〕 〔市長〕 議員有志で支援する会を組織していたこと、賛同を得たものと理解している。

〔質問〕 選挙用ビラに「県の強力な人脈を最大限に活かし」とあるが、公約にない刈田病院の組合解散、市立病院とする考えは、県とずれがあると思つた。その真意を伺う。

〔答弁〕 〔市長〕 七ヶ宿町長からの提案で組合を解散し、市立病院へ移行検討することになった

ものである。

〔質問〕 刈田病院の組合解散の件が、広報しろいしの面に掲載されたが、市の広報紙への掲載には適さないのではないか。

〔答弁〕 〔市長〕 非常に重要な市政課題であることから、市民の皆さまに周知するため掲載したものである。

〔質問〕 同僚議員の報告に「2月18日の正副管理者定例会議で、蔵王町、七ヶ宿町が組合解散の同意を否定」とある。情報は広報紙にはなく、正確に市民に知らせるべきではないか。

〔答弁〕 〔市長〕 広報には原稿の校正期限があるため、更新された情報はその都度お知らせしていく。

【その他の質問】

- ◎ 新型コロナウイルス ワクチン接種について
- ◎ 第一幼稚園休園とその後について
- ◎ スパシユランドの現状とその後について

防災・減災における市道の整備について

大森 貴之



〔質問〕 市が責任を持つて管理・整備しなければならぬ路線のうち、市道福釜線については、市水道・二ツ森水源地への道路としても利用されているが、路肩付近が流水などでえぐられており、更なる悪化が懸念される。今後、どのようにしていくのか伺う。

〔答弁〕 〔建設課長〕 雪解けを待つて、再度現地を確認し、関係各部署と連携し修繕していきたい。

〔質問〕 白石駅歩道橋線（跨線橋）は、今後どのようにしていくのか伺う。

〔答弁〕 〔建設課長〕 現在、

補修工事のための設計を進めているが、JR東日本に工事を委託しなければならぬ区間もあることから、今後、協議を行い、補修工事を進めていく予定である。

◎ 公立刈田綜合病院に関する確認事項について

〔質問〕 「公設民営化」と「民営化」の違いについて伺う。

〔答弁〕 〔市長〕 公設民営化は民間譲渡とは全く異なるもので、病院設置者は地方公共団体のまま、病院運営を民間医療法人に代行させる手法であり、行政が責任を持って施設を維持することに変わりはないものである。

〔質問〕 昨年、整形外科の医師2名が退職された。その補充は大学病

院側で行われるべきではないのか。

〔答弁〕 〔市長〕 医師の派遣は東北大学病院が責任を持って行うことになつており、早急な対応をお願いしているが、院長からは「そう簡単に補充できる状況にはない」と報告を受けているところである。

〔質問〕 医師が派遣されていない現状において、昨年、外部からの医師招聘を試みたとのことだが、その後について伺う。

〔答弁〕 〔市長〕 院長の面接までには至らなかつた。院長には積極的に医師を採用しようという姿勢が見られず残念に思う。

〔質問〕 みやぎ県南中核病院との連携は可能なのか伺う。

〔答弁〕 〔市長〕 中核病院の企業長は「連携をしっかりしていたら、いけるのであれば、その経営形態は問わない」と述べられている。